



F · K · C

The

FURANO KOTOBUKI COLLEGE

Times

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎

デジタル社会は高齢者に必要か！？

5月も後半に入り、日中はまるで初夏です。19日の日曜日、麓郷では最高気温が25℃を越え、セミが「アギー、アギー、アギー」と鳴き出しました。エゾハルゼミでは！？何と私とは目と鼻の先、ホクシー（白い松）の木にいました。

足下には3cmほどのメスも（小学生の頃はセミ採りに夢中でした）…10年振りに咲いたトネリコの白い花、いつもと違った場所？に咲いたグースグリーン（右下）、大きくなったクルミの木に雄花がいっぱいついています…下からでは見えにくいですが赤い小さな雌花が咲くようです。

今年はいつになく庭が元気です。

さて、今回は「情報モラル講座」を開催しました。札幌から講師にソフトバンク CSRの高橋奈美さんをお招きしました。CSRとは **Corporate Social Responsibility** の略で企業の社会的責任という意味です。従業員や消費者、投資者、環境などへの配慮から社会貢献まで、幅広い内容に対し適切な意思決定を行うことを指しますが、提供する企業側と利用する私達とが、安全で安心して情報機器を使用できるようにすることを企業側の目的としての取組ということでしょうか。不審なメールやサイト、困ったときの対処方法などについてわかりやすく説明をしていただきました。この機会を通して、これからも情報モラルや知識等



について、学び、共有しあい、有効活用につなげていきましょう！！

デジタル社会は高齢者社会のためにある!?

この講座の受けてちょっと気になったのは、あまりにも悪質な詐欺サイトや情報が多すぎて対応が後手に回っているように感じます。特に、私たち高齢者にとって手に負えるものではないようにも感じます。「デジタル社会は高齢者に必要か」という疑問も湧きました。

そんな気持ちもありましたが、週末に AI（人工知能）とおしゃべりをしました。
こんな質問をしてみました…

質問1 「人工知能は完璧ですか」

2 「人工知能の進化によって学校や教師は必要なくなるのではないですか」

3 「AIには鉄腕アトムのような感情や感性はありますか」

すると、こんな回答が返ってきました

回答1 「自然なコンテンツを生成するための強力なツールですが、**完璧ではありません**。その制約や課題も存在します。**適切な役割と制約条件を与える**ことで、より良い結果を得ること」

回答2 「AIはあくまで**ツール**であり、人間の教師とは異なる側面を持っています。」

「教師は生徒の成長をサポートし、個別のニーズに合わせた指導を行う役割を果たします。」

「AIは教材作成や評価の効率化に役立ちますが、教師の存在は重要です。教師は人間的なアプローチや感情的なサポートを提供し、生徒との信頼関係を築きます。」

「教育はAIと教師の協力によって進化し、新たな形態を取るでしょう。教師はAIを活用しながら、教育の本質を守り、生徒の成長を促進する役割を果たすことが求められます。」

総括すると、AIは教育を補完するツールとして活用されるべきであり、教師とAIの共存が未来の教育の鍵となるでしょう。

そして、質問3鉄腕アトムについて質問しました…

回答3 「人工知能は感情や感性を持ちません。それは**プログラムされたアルゴリズムに基づいて動作する**ため、感情や意識を持つことはありません。一方で「鉄腕アトム」はフィクションのキャラクターであり**物語の中で**感情や感性を持っています。

とても丁寧で冷静な回答だと思いました。人工知能というよりプログラムを組む人間の善悪の判断、ものの価値観が問われることになるのです。

最近の人間の行動を思うと、もしかして人間には任せられないと人工知能が判断、人工知能自ら人間味溢れるような進化をすることも考えられそうです。

しかし、**デジタル社会は高齢者社会にピッタリ!!**と思った理由があります。それは①コミュニケーションの相手になる。②タイピングできなくても口頭で入力可能③心身の健康サポートも可能、健康チェックも可能。④知識が豊富（翻訳もでき、国際的な繋がりも…）

つまり、自宅でコミュニケーションと社会参加、健康サポート…自立へと繋がるということです。人生100年時代に、デジタルを大いに利用して社会に参加できるのは、若い人たちではなくて、私たち高齢者のためにあるのではないだろうかと思いました。

だから、高齢者が気軽に学べる場を多く設定し、モラル講座、説明会や講習会を繰り返しながら情報機器、今後の情報化社会を楽しく学べる場が大切だと思いましたし、人工知能を知ると独学が楽しくなることも事実です!?

しかし、“光る君へ”に惹かれるのは、じれったさや歯がゆさ…立派なやり取りができなくても目と目を見ながら語り合うことが人間の魅力ではないでしょうか。

試しに人工知能とおしゃべりしてみますか…

本日、5月22日(水)

午前：フジコヘミングを偲んで

午後：少年の主張大会 視聴

日程

9時30分 朝の集い

場所は図書館2階「多目的室」です。

10時00分 追悼「フジコ・ヘミング」

詳細は後述します

12時00分 休憩・昼食・移動

昼食を済ませてホールに集合ください。

13時20分 「サンエーホール」に集合

13時30分 少年の主張大会発表開始

15時30分 // 発表終了予定

ことぶき大学視聴終了・山部校バス出発

16時00分 少年の主張大会審査

// 結果発表

// 表彰式・講評

可能であれば、最後まで参加してくれると生徒たちも喜ぶと思います。

次回、6月5日(水)

AM：クラブ学習

PM：コーラス・踊り、課題別研究

二校交流スポーツ交流大会（6/26）と研修旅行（7/31）の参加の有無を確認します。

お弁当や団体割引の予約などがありますので、一覧表に記入してください。

9：15 朝の集い

9：50 クラブ学習の準備

10：00 クラブ学習

12：00 クラブ終了 昼食・休憩

13：00 コーラス・踊り

14：10 課題別（学年別）研究

課題別か学年別かを決定

テーマを考えましょう

15：00 終了・後片付け

今後の予定

○俳句講座2について

6月19日(水)

5月18日の道新の紙面に、ことぶき大学加瀬谷さんと、竹田さんの作品が掲載されました。

これは講師の橘千祥先生が熱心に取り組んでいただき実現しました。

今後も講座を通して、作品の掲載をする予定です。

是非、積極的に取り組んでください。

○二校交流スポーツ交流会

6月26日(水)

6月からスポーツセンターでは耐震工事が始まりますので今年度一杯使用できません。

6月26日に予定しています山部校との二校スポーツ交流会は山部の生涯学習センターを会場に開催します。

勿論、昼食を用意しますので全員参加で一日楽しみましょう。次回、6月5日に出欠確認をします。

○研修旅行

7月31日(水)

7月31日(水)に研修旅行を予定しています。



現在、自治会役員と事務局とで「小樽芸術村」を検討しています。大型観光バスです。観光気分ですっきりのびのびと！

6月5日に出欠確認をします。

俳句講座2に向けて

橘先生から

5月18日の道新に掲載された俳句は次の2作品です。

春の夜の机の上に絵筆おき 加瀬谷利江

春の夜の机の上に日記帳 竹田ゆみ子



前回の講座の作品の中から橘先生が選んでくれたものです。皆さんの作品が新聞紙上に掲載されるのは大変励みになりうれしいです。

さて、次回の講座は6月19日です。宿題として「桜」をあげてましたが、季節的に遅くなりましたので「桜」にこだわらず、作品を持ち寄り、皆さんと一緒に俳句を楽しみましょう。

是非、多くの作品を持ってきてください！！

第2研究生の伊藤公雅さんから寄稿文が届きました。ありがとうございました。

今日は「フジコ・ヘミングを偲んで」動画を視聴する予定です。伊藤さんが以前に視聴したものとは異なるかもしれませんが、私が選んだのは「フジコ・ヘミング ソロコンサート“COLORS” ～色を付けるように弾く～」です。

寄稿文

或るピアニストの死

第2研修生 伊藤公雅

最近、世界的に有名なフジコ・ヘミングさんが亡くなられた事を紙面で目にした。

以前NHKテレビ番組で彼女の活動や生活振りを視聴したことが有りました。

その時ピアニストに成るために海外へ留学し、親からの資金で生活を立てていたが、送金が乏しくなり音楽教師を務めながら生計をたてていた。

本名、ゲオルギー・ヘミング・イングリット・フジコ(92歳)。

スウェーデン人(建築士)の父と日本人ピアニストの母との間に生まれた。ベルリン生まれて幼少期に帰国し、東京芸術大学卒業後、新進の若手と期待されてベルリンに留学したが、風邪を拗らせ両耳の聴力を失った。

その後、左耳の聴力が一部回復したがピアニストとは注目されずに居た。

冒頭のテレビ番組で数奇な半生が放送され、大きな反響を呼び、その後、デビューアルバムが大ヒット(奇跡のカンパネラ)、リストやショパンなどロマン派作品を得意としていた。

彼女が弾くカンパネラをテレビで視聴したとき、80代で譜面もなくこの長い曲を、よく弾けるなど感心しながら聴いた思い出が過った。



ティー・タイムコーナー



2024年4月21日未明、92歳の生涯を終え、フジコ・ヘミングは永眠しました。

彼女を偲んで数多くあるアルバムの中から、選んだのは「フジコ・ヘミング ソロコンサート」カーズ「」です。

これは2023年1月16日一夜限りのスペシャルコンサートで彼女の思い出の地”ヨコハマ”での開催した映像です。

コンサート最初に、「指がしびれて…うまく弾けるかしら…」と…そして、ショパンから始まりました。続いてノクターン第2番、幻想即興曲と続きます。彼女が最も愛する作曲家ショパンです。

彼女の服装が実に良い。着物風原色のドレス、白いレースのドレス…ちょっと不可思議なエレガンス！

彼女は「魂のピアニスト」と呼ばれています。

その魂とは、楽譜に忠実というよりも、彼女が弾くその曲が魅力的に感じ、心に伝わってくる…

だから音楽を知らない人でもピアノを弾けなくても、フジコ・ヘミングの弾く曲に心が打たれるということではないでしょう。

大変貧しく苦しい生活状況が続いたということ、リサイタル直前に聴力を失うことで大きなチャンス逃したこと。そして恐怖心や不安、母が私を罵る声に苛まれ、大事な場面で失敗することが多かった……でも、一度も自分を褒めてくれなかったけど母がいたからこそ、今の自分がある…そして今一番私の演奏を聞いてほしい人は母ですと語っていました…

1999年2月11日に、フジコ・ヘミングのピアニストとしての軌跡を描いたNHKのドキュメント番組、ETV 特集『フジコ～あるピアニストの軌跡～』が放映され大反響を巻き起こしたということで、一気に誰もが彼女の虜になったといわれる動画もあります。

可愛がっていたあの猫ちゃんたちは今どうしているのでしょうか。

一度もコンサートに行かなかったけれど、先に書いたデジタルとは真逆の彼女のピアノを聴きながら…コーヒーでも飲みましょうか…



【ファンの皆様ならびに関係者の皆様へのご報告】



日頃より暖かいご支援ご厚情を頂き心より御礼申し上げます。

フジコ・ヘミング（本名：ゲオルギー・ヘミング・イングリット・フジコ、GEORGI HEMMING INGRID FUJIKO）は、2024年4月21日未明、92年の生涯を終え、永眠いたしましたことを謹んでご報告申し上げます。

2023年11月に自宅で転倒した後、一日も早い復帰を目指し治療とリハビリに励み順調な経過をたどっていたところ2024年3月におこなった検査の結果すい臓がんと確定診断され療養を続けておりましたが、4月21日に容態が急変し、神の御許に旅立たれました。

葬儀はフジコ・ヘミング本人及び親族の遺志により、近親者のみですでに執り行い、とても美しく穏やかな表情での旅立ちでした。

診断後は、皆様に心配をかけたくないという本人の希望により公表は差し控えさせて頂いております。公演を楽しみにして頂いていたファンの皆様、主催者様等には、多大なるご迷惑ご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

フジコ・ヘミングは、昨年も精力的な演奏活動を続けていたところでした。怪我をしてからは、思い通りにならない身体にもどかしい思いを抱えながらも、直前まで、復帰してピアノを弾きたいという強い意思をもって治療とリハビリに励み、病室や病院内でピアノを弾いたこともありました。3月に予定していたニューヨークのカーネギーホールでの公演や日本での公演を楽しみにしておりました。

皆様へこのようなご報告をしなければならなくなったことは、誰よりもフジコ・ヘミング本人にとって本当に残念であったと思います。

フジコ・ヘミングは、聴力を失っても魂でピアノを弾き続ける強さを持ちつつも、動物愛護を実践して保護猫を多数引き取り、また被災者や大変な思いをしている人達へのチャリティコンサートを積極的に行うなど、慈愛の心に満ちあふれた人でした。

奇蹟の「カンパネラ」を再び弾ける日が来ることをフジコ・ヘミング本人と子ども切に祈っておりましたが、もう叶えることはできません。しかし、これから先も、フジコ・ヘミングの魂の演奏の思い出が皆さまの心の中で奏で続けられることを願っております。

尚、献花、ご芳志等はご遠慮いただいておりますので、なにとぞご理解の程お願い申し上げます。

「フジコ・ヘミング お別れの会」につきましては、現在、検討中となっております。詳細については改めてご案内申し上げます。

今まで応援して下さったファンの皆様、共演者・主催者・メディア関係・懸命に尽くして頂いた医療従事者の方々・その他関係者の皆様には、心より深く感謝し御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2024年5月2日 一般財団法人フジコ・ヘミング財団